

CWA NEWS



令和5年度交流会



参加者全員で記念撮影



伊藤 稔 常務理事



龍野 一郎 理事

次に今年12月来葉予定のウィスコンシン州友好使節団のIsthmus Brass(イスマス ブラス)の5人のメンバーの演奏の様子やメッセージが動画により紹介されました。Isthmus Brassは2009年に結成されたトランペット等の金管楽器の演奏者で構成され、今回来葉するメンバーは全員大学で教鞭をとっています。来葉時にどのような演奏を披露し交流がなされるか楽しみです。

この6月ウィスコンシン州でキッカーマン・アメリカ工場50周年記念式典が盛大に開催されましたが、この式典に出席した清水和生運営委員(アドバイザー)からその模様の報告がありました。その中で姉妹提携当時の知事であるトミー・トンプソンさんが出席され、『交流で最も大事なことは‘フレンドシップ’です』と元気に挨拶されたとのことがありました。

最後に大原美保子副委員長から交流会が盛会裏に終わられたことへのお礼の言葉が述べられたあと、参加者全員の記念撮影が行われました。

※この動画はCWAホームページ(<https://chiba-wisconsin.net/>)で公開

総会が開催された6月18日(日)の午後、プラザ菜の花(千葉市中央区)の4階に会場を移して交流会が開催されました。

冒頭挨拶に立った伊藤稔常務理事から、本年は当協会が設立されてから20年目を迎えることを報告し、会場内にある設立時から参加している運営委員を紹介しその労をねぎらいました。

続いて龍野一郎理事は国際交流の意義を語った後乾杯の音頭をとり、各テーブルでは和やかに会食が始まりました。

会食が一段落すると県教育庁ALTプログラムコーディネーターでもあるMaximilian Gumble運営委員から主としてウィスコンシン州ALTプログラムについてプレゼンテーションが行われ、引き続き今夏に離任するALTのNathaniel EnglishさんとJosie Andersonさんからのビデオメッセージが紹介されました(詳細は次ページ)。



Isthmus Brass



会場の様子

交流会
パート
2

6月18日(日)の交流会では、マックス運営委員から『ALT(外国語指導助手)』についてプレゼンテーションが行われたほか、離任する2人のALTからのビデオメッセージが紹介されました。また、他の離任ALTからメッセージが寄せられました。



Maximilian Gumble (県教育庁ALTプログラムコーディネーター)

自身の千葉県とのつながりは高校時代のホームステイから始まり、その後ウiskonシン州ALTプログラムを通じてALTとなり現在に至っています。

千葉県に配置されているALTの派遣元は、国等が関与しているJETプログラム、民間企業、そしてウiskonシン州ALTプログラムの3種類あり、人数は民間企業が一番多いです。

ウiskonシン州と関わりのあるウiskonシン州ALTプログラムは、1990年の姉妹州締結の翌年から始まり、県教育委員会とウiskonシン州教育委員会が協力して実施しています。プログラムの対象者はウiskonシン州の大学卒業生またはウiskonシン州の定住者となっていて、採用人数は当初は10名だったが、多少増減はあるものの徐々に増加し現在では20名となっています。

合計171名のうち、最大勤務年数は5年、平均勤務年数は2.4年、70%が2年以上、44%が3年以上勤めています。

ウiskonシン州からのALTを受け入れている県立14高校は「英語教育拠点校」と呼ばれ全県に散らばっていますが、県央から北部の地域に多いです。

CWAでは毎年新任ALT歓迎会や食文化交流会等を開催し、ALTとの交流に努めていて、ALT同士のコミュニケーションにも一役買っています。

離任ALTからのメッセージ

Nathaniel English (千葉県立柏井高等学校)

ウiskonシン州ALTプログラムに参加できたこと、そしてCWA主催のイベントに参加できたことに感謝します。特に、日本の伝統的楽器である三味線を初めて体験できた新任ALT歓迎会が楽しい思い出として残っています。

また、このイベントのおかげで、他のALTとより強い絆を築くことができとてもよかったです。

食文化交流会では日本にいなからサンクスギビングのディナーを体験できたことに感謝します。その中でサンクスギビング料理の作り方やお互いの家族のサンクスギビングの習慣を知ることができたことに感謝します。

この交流体験を通じて、他の国からアメリカにきた人々の視点をよりよく理解できるようになりました。



右がNathaniel Englishさん

Josie Anderson (千葉県立佐倉高等学校)

新任ALT歓迎会で様々な日本の伝統的楽器に触れることができたこと、その際に日本語で自己紹介する機会を与えてくれたことに感謝します。

食文化交流会では、太巻き祭り寿司に挑戦したり、サラダ作りを手伝ったことが楽しい思い出です。また、CWAの運営委員からウiskonシン産のクランベリーのお土産をいただき感激しました。家族と遠く離れていても、友人と一緒にサンクスギビングを祝うことができ、そしてサンクスギビングの伝統や思い出を分かち合えたことがとても嬉しかったです。

その他、カラオケを歌ったり、自然の美しい養老溪谷や九十九里浜など千葉の様々な場所を訪れたり、成田太鼓祭りのような地元のイベントに参加したことなど楽しいことがたくさんありました。



右がJosie Andersonさん

Drew Downie (千葉県立松戸国際高等学校)

私のALTとしての時間はあっという間でした。昨年ALTになる書類を準備しビザを待ち、14時間以上のフライトで日本に来てから丸1年が経ったとは信じがたいです。故郷から遠く離れているため、日本での生活の中で自分自身について1つや2つ学ばない訳にはいきません。自分自身の考えや動機が何なのか、そしてそれはアメリカで育ったことで培われたものなのか、日本での生活は常に私に問いかけます。

日本に来て初めて、自分が育った文化から本当に自分が自由になれるのか考えました。何よりも自分が持つ偏見や、その偏見が対人関係に与える影響を自覚することが大切です。日本での滞在は、自分とは異なる人々に対する共感や理解する能力を高め、母国から持ち越した信念のようなものを確固たるものにしました。

千葉ウiskonシン協会の皆さん、私やALTの仲間達の日本への夢を実現させてくれ感謝します。ALTではないですが、日本で別のキャリアを追求するつもりです。新任ALTの健闘を祈るとともに、帰国するALTのこれまでの健闘を称えたいです!

お疲れさま!



左がDrew Downieさん

令和5年度理事会

5月23日(火)、ホテルポートプラザちば(千葉市中央区)において、令和5年度理事会を開催し、当協会の特別顧問である熊谷俊人知事をはじめ、顧問(代理)1名、理事10名(うち代理1名)、監事2名が出席しました。

冒頭、茂木友三郎会長は「コロナ禍のため、この3年間は直に顔を合わせての交流ができませんでしたが、今年度は12月にウイスコンシン州から友好使節団を迎えて、交流を深める予定です。当協会発足から20年の節目を迎え、一層交流を発展させるためにご意見を申し上げます」と挨拶しました。続いて、熊谷知事からは、「ウイスコンシン州との交流がこれだけ長く続いておりますので、先人の皆様方の積み重ねをしっかりと受け継いで、今の時代だからこそ求められる国際交流の親善に今一層取り組んでまいりたい」との挨拶がありました。

その後、令和4年度の事業報告及び収入・支出決算、令和5年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)等5つの議題が審議され、いずれも総会に付議されることになりました。次いでウイスコンシン州との交流状況についての事務局からの報告があり、出席者による積極的な意見交換で幕を閉じました。

なお、理事会での意見交換の内容(抜粋)は、下欄をご覧ください。



令和5年度定期総会

6月18日(日)、ホテルプラザ菜の花(千葉市中央区)において、令和5年度定期総会を開催し、正会員19名(この他委任状提出会員56名)が出席しました。

冒頭、大澤副会長から、当協会設立から20年目を迎え、これまで延期されていたウイスコンシン州からの友好使節団を12月に迎えることになった旨の挨拶がありました。

その後、会員の笹生健司さんを議長として、令和4年度の事業報告及び収入・支出決算、令和5年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)、理事・監事の選任(案)について審議が行われ、すべて原案のとおり承認されました。



理事会での意見交換の内容(抜粋)

- 千葉とウイスコンシンの間で共通することがたくさんあるので、そういう面でも今後益々この会が続いていけばいいと心から思っている。
- リアルでないと交流を深められないということも、大変多くの方から聞いている。そういう面では今年は久しぶりのリアルでの開催であり、以前にも増して交流が深まることを祈っている。
- コロナの間、Zoomで外国の大学と親睦を深めようとしたがやはり難しかった。リアルに話しながら相手の表情を見て、どういう動きをするかを見るのが一番重要だと思っている。
- 国際交流は行政だけでは限界があるので、民間企業の方や団体の方と力を合わせるとより大きな成果が得られると感じている。
- 対面であれば、ビジネスだと製品を実演して示してあげることも出来るし、それ以外にも顔を見て話すということで深い信頼が得られる。国際交流でも信頼関係が一層増していくと思っている。
- 観光関係の仕事で、「Off the beaten track」という言葉を教えてもらった。直訳すると、踏みしめられた道を外れてという意味だ。千葉県とウイスコンシン州、それぞれで「Off the beaten track」というような視点で、素晴らしい観光地をお互いに紹介しあって、観光客が往来できればいいと思っている。
- 1993年姉妹州教職員等交流事業の15人の参加者のうちの一人だ。今回この協会に理事として来るのは何かの縁があるのかなと実感している。
- 若い世代が海外に行き、異文化に接触して、視野を広げていくことは素晴らしいことだ。こういう草の根的な活動を地道に息長く続けていくことが先々広い視点を持った人材を育てていく基礎になると思っている。
- 今年は海外の多くのアーティストが千葉県に来るので、県内各地で国際交流も含めたイベントを実施していきたい。
- 12月の受入の際は、首都圏で一番遅い紅葉の養老渓谷や近くにある「チバニアン」を案内したら喜ばれるのじゃないかと考えている。
- ウイスコンシン州に醤油工場を立地することとしたのは、勤勉な人が多いと言われている州であることも決め手の一つになった。

令和5年度事業計画

【事業方針】

前年度までの事業実績をもとに、さらに多くの方にウイスコンシン州の魅力を知っていただけるよう、各分野の事業内容のより一層の充実を図ってまいります。なお、国等の新型コロナウイルス感染防止対策の動向をみながら、事業内容を適宜変更する等適切に対応するとともに、運営委員会を中心に引き続き検討し、状況に応じて実施してまいります。

【事業内容】

- 1 定例会の開催**
 - ・理事会、総会：各1回
 - ・運営委員会：原則として毎月第二土曜日に開催、委員会の前に各部会を開催
- 2 ウイスコンシン州との交流事業の企画・運営**
 - ウイスコンシン州友好使節団の受入
 - ・時期：令和5年12月2日～9日
 - ・受入団員数：10名程度
- 3 会員等交流事業の開催**
 - ・交流会&Farewell Party (6月18日(日))
 - ・新任ALT歓迎会 (9月30日(土))
 - ・食文化交流会 (11月頃予定)
- 4 CWAの活動及びウイスコンシン州に関する広報事業**
 - ・CWA NEWSの発行 (3回)
 - ・CWAホームページによる各種情報提供
 - ・各種イベントへの参加
 - ・ウイスコンシン州及び同州との交流に関する情報収集

令和5年度 収入・支出予算

1 収入の部

単位:千円

科 目	5年度(A)	4年度(B)	A-B	備 考
会 費	598	608	△ 10	
補 助 金	1,150	1,150	0	
県運営費補助	150	150	0	
県事業費補助	1,000	1,000	0	
交流事業等参加費	255	255	0	食文化交流会・友好使節団送別会
繰 越 金	3,504	3,018	486	
計	5,507	5,031	476	

2 支出の部

単位:千円

科 目	5年度(A)	4年度(B)	A-B	備 考
運 営 費	297	297	0	印刷費、消耗品費等
事 業 費	2,777	2,862	△ 85	
会 議 費	150	150	0	理事会、総会
友好使節団派遣・受入事業	1,900	1,900	0	友好使節団受入費用・受入報告書
会員等交流事業	255	255	0	交流会経費
広 報 事 業	472	557	△ 85	CWA NEWSの発行
予 備 費	2,433	1,872	561	
計	5,507	5,031	476	

令和5年度 千葉ウイスコンシン協会役員・運営ボランティア (令和5年8月1日現在)

役 職 名	氏 名	所 属 等	役 職 名	氏 名	所 属 等
特別顧問	熊谷 俊人	千葉県知事	理 事	宮崎 義政	千葉県太鼓連盟会長
顧 問	長谷川孝夫	鴨川市長		高橋 秀行	千葉県酪農農業協同組合連合会代表理事会長
	太田 洋	いすみ市長		福水 勝利	千葉県立成田国際高等学校校長
会 長	茂木友三郎	キッコーマン株式会社取締役名誉会長 取締役会議長 (ウイスコンシン州名誉大使)		三神 彰	千葉県総合企画部地域づくり担当部長
副 会 長	大石 道夫	公益財団法人かずさDNA研究所理事	監 事	中村耕太郎	公益財団法人千葉県産業振興センター理事長
	大澤克之助	株式会社千葉日報社相談役		奥泉 和則	独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 千葉貿易情報センター所長
	佐久間英利	一般社団法人千葉県商工会議所連合会会長			
	清水 生也	公益財団法人千葉県文化振興財団理事長			
常務理事	吉田 和彦	公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー代表理事			
理 事	青柳 洋治	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長			
	伊藤 浩行	学校法人東京理科大学工学部部長			
	金子 庄吉	一般社団法人千葉県経済協議会会長			
	三枝 紀生	一般社団法人千葉県経営者協会会長			
	小林 洋平	国立大学法人東京大学 物性研究所教授			
	佐久間英利	千葉県経済同友会代表幹事			
	龍野 一郎	千葉県立保健医療大学学長			
	中山 俊憲	国立大学法人千葉大学学長			

【運営スタッフ】		
派遣・受入事業部会	会員等交流事業部会	事務局
清水 和生(アドバイザー)	○阿部 照夫	宮崎 順紀
森山 茂男(委員長)	石井 崇子	加志田幸寛
安藤 忠男(事務局長)	三橋 早苗	
○青木 靖子	山崎 静江	
小川 鉄次	広報部会	
浅沼 明夫	大原美保子(副委員長)	
笹生 健司	○宮崎 忠夫	
	Max Gumble	
		○印は部会長

【イベントスタッフ】	【PRスタッフ】
角田トミ子	榎田 直美
慶児 聡子	
薄井まどか	
加藤 由恵	
小川 智子	

【編集後記】

今年CWAが設立されてから20年目を迎え、これまで延期されていたウイスコンシン州からの友好使節団を12月に迎えることになっています。今年の交流会では、友好使節団のIsthmus Brassの5人のメンバーの紹介動画がスクリーンに映し出されました。12月の受入事業が県民と感動を共有する場となるよう準備を進めてまいります。

発行所：千葉ウイスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<https://chiba-wisconsin.net/>

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟 14階 (公財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)

